

事務事業評価シート 令和 2 年度事後評価・決算

令和 4 年 2 月 10 日時点

事務事業評価シート						令和 2 年度事後評価・決算		所管課	高齢者福祉課		担当班	高齢者班			
事務事業名		コード	75320	認知症サポーター等養成事業		予算科目	会計	款	項	目	事業種別	☒ 主な事業（重点施策）重4			
							介護	5	4	1		☐ 国土強靱化地域計画			
施策体系	基本施策	25	地域包括ケアシステムの充実		根拠法令	介護保険法第115条の45第2項第6号							☐ 新市建設計画		
	施策の展開	52	地域包括ケアシステムの充実		戦略事業	222	認知症サポーター等養成事業					☒ 定住自立圏構想			
	施策の展開				戦略事業							☐ 主要事業			

(1)事務事業の概要

① 事務事業の期間	② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない		
☒ 単年度繰返 ☒ 平成 19 年度～ ☐ 開始年度不詳 ☐ 期間限定複数年度 平成 年度～ 令和 年度まで	認知症になっても住み慣れた地域で安心して暮らせる街づくりを目指す。 ・認知症の正しい知識を身につけ認知症高齢者やその家族を支える認知症サポーターの養成。		
③事務事業開始の経緯・事務事業の現状	④事務事業に関する課題・環境の変化	⑤事務事業に対する住民からの意見等	
認知症施策の推進については、従来は介護予防普及啓発事業の一環として行っていたが、平成27年度の介護保険法の改正に伴って認知症施策推進事業が地域支援事業に位置づけられた。	高齢化の進展に伴い、認知症高齢者のさらなる増加が見込まれることから、認知症に対する普及啓発、見守り支援の推進が必要となる。	認知症サポーター養成講座開催後にアンケートを実施。認知症の正しい知識が身に付いた、温かく接し、見守りたいと好評であった。	

(2)コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細(2年度の決算)		単位:千円
1.報償金		
2.普通旅費		
3.消耗品費	56	標準教材テキスト代
4.職員研修負担金		
② 特定財源の内訳(2年度の決算)		単位:千円
1.国庫支出金	22	地域支援事業交付金
2.都道府県支出金	11	地域支援事業交付金
3.地方債		
4.その他	11	地域支援事業繰入金

		単位	29年度 (決算)	30年度 (決算)	1年度 (決算)	2年度 (決算)	3年度 (予算)
事業費	費目内訳	1. 報償金	千円				
		2. 普通旅費	千円				
		3. 消耗品費	千円	22	65	56	57
		4. 職員研修負担金	千円				
		事業費計 (A)	千円	22	65	56	57
財源		1. 国庫支出金	千円	8	25	22	22
		2. 都道府県支出金	千円	4	13	11	11
		3. 地方債	千円				
		4. その他	千円	4	13	11	11
		5. 一般財源	千円	6	14	12	13

前年度増減理由	
---------	--

従事職員数	常時 1 人	最大 2 人	×	10 日	=	延べ 20 人
-------	--------	--------	---	------	---	---------

(3)事務事業の手段・目的と対応する指標

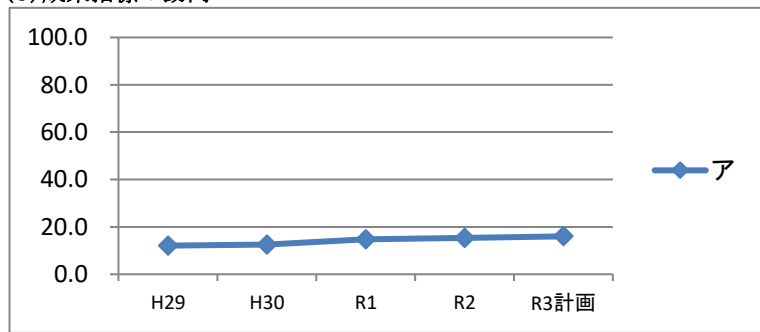
手段	① 主な活動	③ 活動指標名	単位	29年度 (実績)	30年度 (実績)	1年度 (実績)	2年度 (実績)	3年度 (計画)
	2年度実績(2年度に行った主な活動) 市内キャラバン・メイトの協力を得て、小学校2校、看護学生、保健推進員、民生委員などを対象に講座を開催した。予定していたが、感染症予防のため中止となった団体もあった。	ア 認知症サポーターの新規養成人数	人	222	129	458	181	200
		イ						
目的	② 対象・意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標名	単位	29年度 (実績)	30年度 (実績)	1年度 (実績)	2年度 (実績)	3年度 (計画)
	対象 認知症高齢者や家族、関係者、一般市民 意図 地域で認知症の方を見守り、支え合う体制ができ、認知症高齢者や家族が地域で安心して生活できる。 対象意図	ア 高齢者に占める認知症サポーターの割合(認知症サポーター総数/65歳以上人口)	%	12.1	12.5	14.7	15.4	16.0
		イ						

(4)事務事業優先度評価の結果

①成果優先度評価結果				
		成果向上余地		
		かなりある	ある程度ある	ほとんどない
施策貢献度	大きい	①		
	普通			
	小さい			

②コスト削減優先度評価結果				
		コスト比率		
		下位1/3	中位1/3	上位1/3
成果優先度評価結果	①	(1)		
	②			
	③			
	④⑤			
	⑥			
	⑦⑧⑨			

(5)成果指標の動向



(6)事務事業に関する評価

評価内容	① 進捗状況	☐ 完了 ☐ 順調 ☒ 概ね順調 ☐ 停滞 ☐ 実施困難												
	【コメント】 (停滞・未実施・実施困難の場合、その理由)													
	② 成果の状況	成果指標ア	成果指標イ	成果指標のタイプ	数値増＝成果向上	☒ 向上	☐ 横ばい	☐ 低下	比較 成果動向	28年度 29年度	29年度 30年度	30年度 1年度	1年度 2年度	2年度 3計画
	【コメント】 (低下の場合、その理由)									ア	1.0	0.4	2.2	0.7
						☐ 向上	☐ 横ばい	☐ 低下	イ					
	③ 今年度取組事項 (3年度に取り組む主な事項について記載)	時期	内容			今後の方向性	☒ 拡大 ☐ 縮小	☐ 現状維持 ☐ 廃止・休止	☐ 見直し ☐ その他 ()					
	随時	感染症発生動向を見ながら、小学校やR2年度中止となった団体へ開催について呼び掛けていく。												